

新入生
歓迎号

咲かそう！

夢を

新入生歓迎の言葉 P1

学長 野地 澄晴 / 副学長 河村 保彦

在学生による新入生歓迎の言葉 P3

総合科学部 社会総合科学科 4年 水元 麻尋
医学部 医学科 2年 宇田川 明郁
歯学部 歯学科 4年 荒尾 公喜
薬学部 薬学科 2年 近藤 優奈
理工学部 理工学科 4年 三好 亜季
生物資源産業学部 生物資源産業学科 2年 塩崎 希々花

私たちも応援します P5

同窓会からのメッセージ P9

徳島大学カレンダー P10

キャンパスマップ常三島・新蔵地区 P11

キャンパスマップ蔵本地区 P13

サークル紹介 P15

My Campus Life P17

理工学部 理工学科 3年 仲 彩加
歯学部 歯学科 4年 植木 雄仁

海外体験記 P19

総合科学部 社会総合科学科 3年 元木 春伽
総合科学部 社会総合科学科 2年 櫛渕 英

My Life in Tokushima P20

理工学部 理工学科 4年
HOANG TUAN TRUNG
(ホアントゥアン チュン) [ベトナム]

最先端研究探訪 P21

大学院医歯薬学研究部歯学域 教授 松香 芳三

研究室へようこそ P23

大学院社会産業理工学研究部 理工学域 教授
小笠原 正道研究室

「起業」という世界を
知って、学んで、体験して、
未来の自分を考えよう! P25

徳大ニュース P27〜

徳島大学基金 / 編集後記

徳島大学基金 ～ご寄附のお願い～

徳島大学は、運営費交付金が年々削減される中、充実した教育研究環境と安定した財政基盤を確保するため、「徳島大学基金」を設置しています。皆さまからご支援いただいた寄附金を基金として積み立て、学生の修学支援、国際交流やグローバル化の推進、教育・研究・社会貢献活動などのため事業区分ごとに大切に活用させていただきます。法人、団体、個人の皆さまからの温かいご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基金の種類

【教育・研究・社会貢献事業基金】プロジェクト事業や全学的な教育・研究・社会貢献事業、環境整備などへのご支援

【国際交流・グローバル化事業基金】留学、教員の海外派遣など、国際交流事業へのご支援

【修学支援事業基金】授業料等の免除など、学生の修学へのご支援

【学部等支援基金】各学部、先端酵素学研究所の教育・研究や管理運営、環境整備へのご支援

【古本募金】不要になった本、CD、DVD を寄贈いただき、買取金額を基金に充てます

古本募金の特設サイトもぜひご覧ください → <https://www.charibon.jp/partner/tokushima-u/>



「徳島大学基金」について、詳しくはホームページをご覧ください。
(<https://www.tokushima-u.ac.jp/contribution/>)

徳島大学基金

検索

お申込み方法

一口千円とさせていただきます。複数口のお申込みを歓迎いたします。ご寄附いただける場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。また、ホームページからクレジットカードやコンビニを利用したお申込みも可能です。

税制上の優遇措置

徳島大学へのご寄附は、徳島大学が発行する「寄附金領収書」を添えて確定申告を行うことにより、税制上の優遇措置を受けることができます。詳細は「徳島大学基金」のホームページに記載しております。

寄附者のご紹介

2020年10月から12月までの間に、徳島大学基金にご寄附をいただいた皆さまのご芳名をご紹介します。ご支援、誠にありがとうございました。

〈個人の皆様 五十音順〉

栗飯原 賢一 様 上殿 紀夫 様 植村 新 様 川田 司 様 後藤 幸子 様 田中 秋宏 様
田中 敏 様 友成 隆治 様 友藤 吉明 様 山口 勝己 様

〈法人・団体の皆様 五十音順〉

教職員共済生活協同組合 様 日亜化学工業株式会社 様

上記のほか、公開を希望されない方12名および1団体様からご寄附をいただきました。
お気づきの点がございましたら、おそれいりますが、下記お問い合わせ先までご連絡いただけますようお願いいたします。

お問い合わせ先

- ・基金に関するお問い合わせ: 徳島大学基金事務局 (担当: 総務部同窓生・基金室) 電話 088-656-9981
- ・申込手続き、税制上の優遇措置に関するお問い合わせ: 徳島大学財務部資産管理課 電話 088-656-7037



教育・研究に関する情報や各種イベントのご案内など、様々な情報をお届けしています。ぜひ、配信登録をお願いいたします。配信先メールアドレス、氏名、本学との関係(卒業生、保護者、その他)を明記し、
koho@tokushima-u.ac.jpへご連絡ください。

徳大広報とくtalk No.183をご愛読いただきありがとうございます。

ご意見ご感想は下記にお寄せください。

発行: 徳島大学広報室 徳島市新蔵町2-24

〒770-8501 TEL: 088-656-7021 FAX: 088-656-7012

E-mail: koho@tokushima-u.ac.jp

URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/about/publicity/toku_talk.html

発行日: 2021年4月1日 本誌は年4回(4月、7月、10月、1月)発行

印刷: 徳島県教育印刷株式会社



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C126198

編集後記

湯本 浩通

新入生の皆さん、徳島大学へのご入学おめでとうございます。今号(No.183・新入生歓迎号)は、新入生の皆さんがこれから徳島大学で充実した学生生活を送れますように、様々な方面から応援メッセージや情報を提供いただきました。1年以上前から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、学生のみならずご父兄の皆さまにおかれましても不安な面が多いかと思えます。今後も新型コロナウイルスへの感染対策を含め、講義・実習・部活・サークルや就職活動などに対する学生サポートに加えて、徳島大学が取り組んでいる活動に関する最新の情報を提供できればと思っております。これからも学生や教職員の活動に対して、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



夢を実現するために！

徳島大学長 野地 澄晴（のじすみはれ）

「夢」を実現するためには、まず「夢」を持たなくてはなりません。あなたは「夢」を持っていますか？その夢をどのように実現するのでしょうか？

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。徳島大学は皆さんを心から歓迎いたします。皆さんへの歓迎の言葉として、「夢」を実現するために必要なことを紹介いたします。

「夢」は寝ている間に見るもの

ですが、現在は、「実現を目指す、将来の希望の姿を見る」意味にも使用されています。意味的に相当する英語は「ドリーム」ではなく、「ビジョン」でしょう。こちら

も本来見ることを意味しています。あなたには「ご自身が希望する将来の姿」が見えているでしょうか？意外に多くの大学生は「夢」を持っていないとの情報があります。その理由は、実は暗黙に、「良い大学に入り」「良い会社に就職

し」「定年まで働く」という日本の良き時代の終身雇用制度に組み込まれることが「夢」であると教育され、現在に至っているからだと考えています。今でも社会は、既に敷かれたレールの上を走ることを子供に願い、敷かれたレール

から外れることを望んでいないです。従って、誰も「夢」のことを教える必要がなかったのです。しかしそのため、この30年間、日本から、G A F Aなどの新しい企

業が生まれていないのです。

時代は確実に移り変わり、現状を維持することは、取り残されることを意味します。では、どのようにしなければならぬのでしょうか？まず、将来変わっても良いので「夢」を持つことです。人生は旅に例えられますが、目的地が決まっていなくて、どちらの方向にどのようにして歩き出せば良いのか決めることができます。それと同じで、「夢」がないと、明日何を勉強したら良いのかわからず、結局、例えば単位の取り易いと言われる講義を選んでしまふのです。逆に、「夢」があれば、それを実現するために何をすべきかが明確になるのです。

では、どんな「夢」を持てば良いのでしょうか？「他者の幸せのためになることで、自分ができることは何か？」と考えるのが良いでしょう。他者？と思われるかもしれませんが、他者が幸せになることが、自分が幸せになることなのです。その一つの例が、S D G sです。世界には解決しなければならぬ多くの課題があります。S D G sでは17の目標、

169のターゲットが設定されています。それを2030年までに解決できるように、世界が一致団結して取り組むことになっています。このS D G sの目標の中に、必ずやあなたを必要とする取り組みがあり、それに参加し、ゴールを達成することがあなたの「夢」になるでしょう。できれば、ムーンショットのような、つまりより大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発によつて達成することを目指してください。大きければ大きいほど、幸せも大きくなります。

徳島大学では、「Zero to One」を生み出す教育や研究に力を入れ、既存の企業に就職することを考えるのではなく、S D G sの達成に必要なスタートアップを起業することを奨励しています。新入生の皆さんには、今まで経験したことのない事にも失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていただき、豊かな自然に囲まれた徳島の地の利を生かした大学生活を楽しみながら、素晴らしい夢を実現する力を蓄えていただくことを期待しています。



夢を描き続け それに向かって邁進しよう！

副学長理事(教育担当) 河村 保彦（かわむらやすひこ）

新入生の皆さん、晴れて徳島大学へご入学おめでとうございます。昨年初めからの新型コロナウイルスの猛威が我が国にも波及したことで、皆さんの受験生活も厳しい中になお一層のストレスを強いられたことと思います。最近になつてようやくワクチンの接種が身近に語られるようになりましたが、米国ではコロナ禍により没した人が前世紀の全戦没者数を上回ったと報告されました。本当に驚くべきことであり、目に見えないウイルスとの戦いが現代社会にあつても脅威であると思ひ知らされます。

一方、世界的に見て高いものと自負してきた我が国の科学技術は、C O V I D ー19ワクチンの開発におけるリーダーと成り得ておらずとても残念なことです。20世紀の時代には、我が国においても飛躍的に進展した科学と科学技術の力量が余すことなく発揮され、私たちの生活を豊かにしました。しかし他方では、戦禍にまみえたり、日々の食にも窮したり、チェルノブイリ原発のようになおその爪痕に喘いでいる人々がいることも忘れられません。また今世紀の我が国では、ちょうど10年前の3月11

日にマグニチュード9を超え、巨大津波と原発事故を誘発させた東日本大震災により、多くの人々の平穏な日常が一変してしまいました。

こうした時代背景の中で、今まで皆さんは各自の進路を考え大学に入学することを見据えて毎日を過ごしてこられたことと思います。しかしその思いが遂げられた今、これから本当の意味で皆さんの生き方探しが始まります。大学生活は終生を通じて二度とない貴重な期間であり、日々存分に活かしていただくよう希望します。今

後の新型コロナウイルス禍の動向による影響は避け難くはありますが、初年次の教養科目や専門基礎科目、語学などの科目履修に、サークル活動やボランティア、アルバイトや交友関係でも学力はもとより、人間力を涵養する機会があることと思います。ところで、未来予測は誰しも興味を抱くことだと思います。20世紀に夢見られたことは、今世紀に入つてかなり現実のものになりました。自動車の生産ラインではおおよそロボットと見えないような多数のアームが、目にも止まらぬ速さで部品を組み上げています。夥しい数の人々が、これまでの人類の歴史の中で最も速く人々の間に普及したスマートフォンを持ち、日々利用しています。空を見上げれば、火星や何億キロも離れた小さな星にまで宇宙船が到達し、そこから貴重な試料を持ち帰ろうとしています。人類の科学技術は幾多の誤謬を含みながらも日突然突つた部分が現れ、それが世界を席巻していきま

す。こうした革新的技術に対して、たまたま文部科学省科学技術政策研究所が公表した「第7回技術予測調査」（2001年7月）を目にしました。ちょうど今年はその時から20年目になり、当時の予想的中度は興味深いものと思います。100項目と多数で個々に触れることはできませんが、印象としてはその時代の科学技術の専門家にしても達成度予測は難しいものということです。しかし、全般としての技術革新の方向性は、まさに20年前に示されたものと合致しその点には瞠目させられました。したがって、今後も達成できる時期は前後しようとも、時代の人々が思い描いている世界はいずれ実現されるといえます。本稿では科学技術の側面を取り上げましたが、徳島大学では文系・理系を問わず幅広い分野でいわゆるS D G s（持続可能な開発目標）に貢献する教育研究を行なっています。それぞれの分野で、本学新入生の皆さんが将来大いに時代の夢に関わり新時代のイノベーターとして活躍されることを念じて、私からのほなむけの言葉とさせていただきます。

在学生による 新入生歓迎の言葉

CONGRATULATIONS



総合科学部
社会総合科学科 4年
水元 麻尋
(みずもと まひろ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。今年の受験期間は色々
と不安が尽きなくて大変だったと思いま
す。

受験から解放された皆さんは何をし
たいですか？たくさんあると思います
が、大学生のうちに全部やりきる勢い
で過ごすことをオススメします。同じ
学問を究める友人との時間や留学先で
経験する異文化、アルバイトでわかる
働く大変さなど、実践的な学びを経験
できるのが大学生の醍醐味です。これ



らの経験が刺激となり、自分の成長に
繋がります。
大学生は時間がたくさんありますが、
思っているよりあっという間に過ぎ
去っていきます。皆さんの貴重な大学
生活が充実したものになるように願っ
ています。



歯学部
歯学科 4年
荒尾 公喜
(あらお こうき)

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。長かった受験勉強も終わ
り、憧れの大学生活を前に胸を躍らせ
ていることでしょう。しかしながら、
地元を出て、徳島の一人暮らしやパ
イトなど不安な方もいると思います。

僕は大学生活において、部活動・サー
クルに入ることをお勧めします。わか
らないことは先輩方が教えてくれたり、
同期の友達を作れたりということが沢
山あります。僕はテニス部に入ってい
ますが、部活動のみんなと一緒に、夏



の遠征で県外に行ったり、USJや
ディズニーランドへ行ったり楽しいこ
とが盛りたくさんです。
徳島での4年あるいは6年の大学生
活は長いようですごく短いと思います。
悔いの残らないように大学生活を精一
杯楽しんでください。皆さんが楽しい
学校生活を送れることを願っています。



医学部
医学科 2年
宇田川 明郁
(うだがわめい)

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。皆さんとともに徳島大学
で学生生活を送れることを、とてもう
れしく思います。

さて、私が一番伝えたいことは「自
分から何かに挑戦する」ということ
です。徳島大学には、部活動やサークル
はもちろん、オンライン留学、研究室
での活動など、自分を成長させるため
のチャンスがたくさんあります。様々
な挑戦をすることで新たな視点や考え
方が見つかると、さらに自分の世界を広



げることが出来ます。入学してからの
一年、充実させることができるかどう
かは皆さん次第です。どんな状況でも、
失敗を恐れず様々なことに挑戦してみ
てください。
皆さんが楽しく充実した学生生活を
送れることを心から願っています。



理工学部
理工学科 4年
三好 亜季
(みよし あき)

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。これから始まる生活に期
待で胸がいっぱいなことでしょう。

そんな大学生活をより充実したもの
にするために皆さんには、なんでも
やってみる癖をつけて欲しいと思い
ます。ここで重要なのは、自分の好き
嫌い、できるできないで判断しないこ
とです。今の自分に少しでも役立ちそ
うなことはなんでもやってみてくだ
さい。また、挑戦する前に、誰かに目標
を宣言すれば、後に引けなくなり頑張
るのです。



るのでオススメです。
教養の幅を広げることは、自分の可
能性を広げることに繋がります。
皆さんの大学生活が楽しく充実した
ものになるよう心から願っています。



薬学部
薬学科 2年
近藤 優奈
(こんどう ゆうな)

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。
新型コロナウイルスという未曾有の
事態での受験を終え、待ちに待った大
学生生活が始まりますね。新生活へは期
待だけではなく、同じくらしいの不安も
あるのではないのでしょうか。

大学生活では、勉強や部活、サーク
ル活動など、多くの場面で「自分から
積極的に」行動することが求められま
す。自分がしたいと思ったことはどこ
までもできるという強みがある一方で、



何もしないでいることもできてしま
います。自分から動くことに不安はつき
ものですが、大学で過ごす時間が皆さ
んにとって充実したものとなるように、
何事にも積極的に挑戦してみてほしい
と思います。



生物資源産業学部
生物資源産業学科 2年
塩崎 希々花
(しおさきののか)

新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。長い長い受験勉強を終え、
新たな生活に期待を膨らませているこ
とだと思います。

そこで皆さんに私から、大学生活で
大事にしてほしい心かけをお教えした
いと思います。それは、「少しでもや
りたいと思ったことは、とりあえず
やってみる。」ということなんです。私も
部活動やサークルなどで、この心構
えを持って、様々なことを実行に移
し、経験を積んでいます。長いよう



あつという間な大学生活。たくさん経
験するのはとてもいいことだと思うの
で、皆さんもこの心構えを思い出して、
様々なことにチャレンジし、大学生活
を楽しんでほしいと思います。

私たちも応援します Congratulations

教養教育院

院長

齊藤 隆仁（さいとう たかひと）



徳島大学へ入学おめでとうございます。特に皆さんは、大学入試センター試験から大学入学共通テストに変更となり、またコロナ禍による高等学校等での授業の中断・変更を余儀なくされた厳しい受験環境であったかと思いますが、皆さんはこれから学んでいく学

附属図書館

図書情報課利用支援係

國見 裕美（くにみ ゆみ）



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

附属図書館では、皆さんに安心して利用してもらえよう、体温測定カメラや消毒液、パーテーションの設置、座席制限による間隔の確保、常時換気などの様々な感染防止対策を行っています。館内にはパソコンを設置しており、履修登録やレポート作成、遠隔授業の受講も可能です。無線LANが整備されていますので、自分のパソコンを持ち込んで利用することもできます。

静かに自習したい時は個人用の閲覧席や研究個室、何人かで話し合いをしたい時はグループ研究室やグループ学習のできるエリアが利用できます。

また、図書館では皆さんの学習をサポートするサービスも積極的にを行っています。文献検索の講習会や、先生が課題の疑問点などの相談につてくれる学習相談窓口「Study Support Space」をご用意

部が決まり、「一刻も早く専門を学びたい」という気持ちがあると思います。しかし1年生の授業の多くは教養教育です。教養科目群、創成科学科目群、基礎科目群、外国語科目群で構成されていますが、一言でいうと大学で「学ぶ力」を身につけることにあります。なぜ、教養教育から始めるのでしょうか。実は「今役立つことは、すぐに役立つたなくなるかもしれない」からです。高等学校までは、答えがひとつの問題に答えることができる学習をしてきました。大学では、答えが一つとは限らない問題を考えることがしばしばあります。また、答えにたどり着くまでの方法も様々です。そうなったときに役立つのは「学ぶ力」です。

教養教育においては様々な学部の学生が受講する授業を数多く開講していて、幅広い交友関係を築く機会ともなります。コロナ禍では従来の対面授業のみでは不可能になりました。コロナ禍がしばらくつづくことから遠隔授業も併用しての学修の場となります。必要に迫られて導入された遠隔授業ですが、学生間のディスカッションを遠隔で行うなど新しい形でのアクティブラーニングも試行していますので、そうした機会があったら積極的に取り組んでください。

英語学習には「多読コーナー」がおすすめです。辞書を使わずに読めるレベルの本を揃えており、音源付きの本も多くあります。楽しくたくさん読んで英語力を伸ばしましょう。資料の探し方が分からないなど、困った時にはカウンターの職員に気軽に声をかけてください。

ここまで来館しての利用について案内しましたが、電子書籍の利用、蔵書の検索や予約、貸出期間の延長など、様々なサービスが図書館を訪れることなく、ホームページから利用できます。また、コロナ時代の学習に役立ててください。また、誰かと話すことが少なく寂しく感じる時があるかもしれませんが、オンライン上で集まり好きな本を読んで過ごす、徳大生限定「オンライン読書室」を開



図書館多読コーナー

また基礎科目群以外は、複数の授業の中から選択します。自分の興味があるものを選んでいくこととなります。教職員一同、皆さんの学びを支える体勢を作っていますので、大学での学びを楽しんでください。

学務部

教育支援課 教養教育係

阿部 美智子（あべみちこ）



教養教育係のスタッフ。（筆者前列中央）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんが最初に学ぶ授業に「教養教育科目」があります。教養教育では、4つの科目群から、所属する学部の履修要件にそって、自分で学びたい授業を選ぶことができます。

催していますので、ぜひご参加ください。

附属図書館の最新情報は、ホームページや公式SNSをぜひチェックしてください。皆さんのご利用をお待ちしています。



図書館ホームページ
URL: <https://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

キャンパスライフ 健康支援センター

アクセシビリティ支援部門 教授

住谷 さつき（すみだに さつき）

新入生の皆さんへ入学おめでとうございます。キャンパスライフ健康支援センターは、常三島キャンパスは教養教育5号館の1階（一部4号館の1階、蔵本キャンパスは学生会館の2階にあります。保健管理センター、総合相談室、アクセシビリティ支援室の3部署からなり、学生の皆さんの心身の健康を守り大学生活を豊かにするお手伝いをしています。保健管理センターは、高校までの保健室に相当するところです。経験豊富な内科医と精神科医が常

きます。時間割を作るのは大変な作業ですが、履修の手引、シラバス（授業概要）などを確認し登録を行ってください。履修希望が多い授業は抽選を行うことがあります。抽選に外れた時のことも考え、第二・第三希望の授業を決めて履修登録に臨みましょう。昨年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、講義室での対面授業、Web会議ツールや動画共有サービスを利用した遠隔授業、その両方を取り入れた授業など様々な授業が行われています。

教養教育の授業に関する連絡は、教務システムや教養教育掲示板でお知らせします。授業担当の先生からも教務システムやnanaba（ナバ）などを通じて連絡がありますので、必ず毎日確認してください。教務システムから配信される情報はCアカウントメールに転送することができます。

また、教養教育では語学運用能力向上のために、語学マイレージ・プログラムを実施しています。外国語科目や外国語技能検定試験の成績などがマイレージポイントとして加算され、700ポイント以上の獲得が卒業要件に課されています。地域創生・国際交流会館では、レベル別に語学学習できる

駐しており、春には皆さんの健康診断を行ったり、病気やけがをした時の診察・治療をしています。常三島キャンパスの保健管理センターには健康管理のための測定機器やランニングマシンなどの運動機器も備えており、健康増進のための健康教室も定期的に開催しています。心身の健康に関する相談も受け付けていますので、健康面で心配がある方はぜひご利用ください。

総合相談室は皆さんのあらゆる悩みや困りごとの相談に応じています。公認心理師と臨床心理士の両方の資格を持つカウンセラー3名が常三島と蔵本の両方のキャンパスの相談室で予約制で相談を受け付けています。また、学生同士の交流の場として、グループワーク「ほっとの会」と「ほっとカフェ」も定期的に開催しています。大学内での勉強や研究のことはもちろんプライベートなことでもどんな相談にも応じています。話すだけで気持ちになることもあるのでいつでも気軽に足を運んでください。

アクセシビリティ支援室は、身体障害、精神障害、発達障害などさまざまな障害をもつ学生が大学で勉強や研究を行う際の困りごとに精神科医が相談に応じ、所属学

ワークショップ、語学学習相談、各種イベントも実施していますのでぜひ活用してください。

教養教育科目の履修や語学マイレージ・プログラムについて悩んだ時は、教養教育係へ相談に来てください。コロナ禍にあっても、新入生の皆さんが有意義な大学生活を送れるよう応援します！

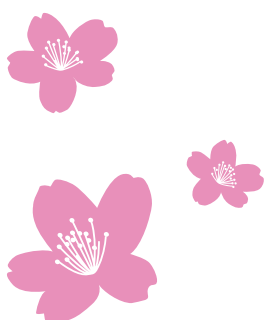


教養教育院ホームページ
URL: <http://las.tokushima-u.com/>



履修の手引き・時間割・シラバス（授業概要）
<http://las.tokushima-u.com/campus-life/>

教養教育の窓口：
教育支援課教養教育係（教養教育4号館1階）



部や医療機関と連携しながらよりよい学生生活を送れるよう支援を行っています。障害のある学生には個別に支援計画を立て合理的配慮を提供できるようお手伝いしています。また、身体・精神・発達障害へのサポートに関する講義を前後期に開講し、障害者支援に関する勉強会やボランティア実習を行ってピアサポーターやアクセシビリティリーダーの育成をしています。

キャンパスライフ健康支援センターは皆さんの希望に溢れる学生生活に応援しています。どうぞ気軽にご利用ください。

利用案内
利用時間 月～金 8:30～17:15
常三島キャンパス:保健管理センター、総合相談室（教養教育5号館1階）、アクセシビリティ支援室（教養教育4号館1階）／蔵本キャンパス:保健管理センター、総合相談室（蔵本会館2階）
●保健管理センター
Tel: 088-656-7289（常三島） Tel: 088-633-7591（蔵本）
●総合相談室
予約制となっていますので下記までご連絡ください。
Tel: 088-656-7637（常三島・蔵本共通）
E-mail: hsc.counseling@tokushima-u.ac.jp
●アクセシビリティ支援室
Tel: 088-656-9975
E-mail: syuugakusien@tokushima-u.ac.jp

キャリア支援室

学生支援課 キャリア支援係

宮本 康史（みやもと やすし）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

キャリア支援室は、就職活動に関わらず、進路や自己実現といったキャリアに関するものであれば、学年を問わず幅広く利用していただくことができます。まずは、ちょっとした相談や質問でいいので、気軽にお願いします。

徳島大学では、1年生から自己理解、業界・企業研究等のキャリア教育の基礎に関する授業を行っており、その後もキャリア支援部門専任教員による未来社会とキャリアの構想を目的とするソーシヤルデザイン、実際に学生を就業体験の場へと送り出す短期インターンシップなどの授業が開講され、キャリア教育・キャリア形成・就職活動とそれぞれのステップに合わせた支援を行っています。

中でもインターンシップは、実際に現場で仕事に触れることで、職業観の醸成や将来設計に役立つものです。1～2年生から参加できるものもあるので、様々な業界や職種のものに積極的に参加してみてください。その決断が自分の将来を大きく変

えるかもしれません。

キャリア支援室では、皆さんのキャリアや就職活動、インターンシップに関する相談のほか、求人・企業情報の提供、エントリーシートの添削、面接練習、就職ガイダンスの実施など、就職活動が終了するまで様々なかたちで皆さんをサポートしています。

「どうしたらいいかわからない。」「そんなときこそ、キャリア支援室を利用してください。皆さんが必要とする情報やアドバイスを得られ、納得のいく答えを見つけることができるはずです。

これから多くの皆さんが関わる就職活動は人生の大きな分岐点であると同時に、自分を見つめ直し、新たな道に踏み出すチャンスでもあります。そんな大変な時期だからこそ、弱音を吐きたくないことがあるかもしれません。そんな時はキャリア支援室で息抜きをしていつてはいかがでしょうか。



キャリア支援室

インターナショナルオフィス

高等教育研究センター 教授

橋本 智（はしもと とし）

徳島大学へようこそ。これから日本、そして世界へ羽ばたく皆さんを歓迎します。インターナショナルオフィスは徳島大学の国際交流の拠点であり、大学と地域のグローバル化の推進役を果たしているところです。日本人学生、外国人留学生、地域の方々、そして教職員がともに学び、世界に目を向け、多文化・異文化を理解することができるように、様々な活動を通して皆さんをサポートします。

新型コロナウイルス感染症の影響は大学の国際交流にも大きな影響を与えています。2020年度に計画されていた全ての海外留学プログラムは中止され、外国人留学生の多くも日本に来ることができなくなりました。そのような中でも、徳島大学は学生の皆さんが多文化体験のできる機会を提供しています。例えば、長期休み期間中にオンラインでの海外研修プログラムを実施しました。アメリカ、韓国、台湾、そしてマレーシアの提携大学とオンラインで結び、語学学習や現地の教員や学生と交流ができるプログラムです。実際

私たちも応援します Congratulations

情報センター

情報統括部門 准教授

佐野 雅彦（さの まさひこ）

ご入学おめでとうございます。ようこそ徳島大学へ。

情報センターは、皆さんが大学で利用する演習室のパソコン、インターネット環境や大学生活や講義などで利用する各種の全学情報サービス（電子メール、掲示板、クラウドストレージや関連するサービス）、



ラム（2～4週間）があります。海外留学をする、全く新しい発見と出会いがあります。自分と自分の視野を広くすることもできます。常三島キャンパスの地域創生・国際交流会館4階及び蔵本会館2階の「Global Space」には短期海外留学プログラムや海外生活に関する情報がありますから、ぜひ一度立ち寄ってみてください。海外留学プログラムの説明会や報告会も随時開催していますので、インターナショナルオフィス・国際課の掲示板やホームページを定期的にチェックしてください。また、海外留学に関する質問がある人もインターナショナルオフィス・国際課に来て



● インターナショナルオフィス ホームページ
URL: <https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>
地域創生・国際交流会館4階
● 国際課
E-mail: ryugakuk@tokushima-u.ac.jp
常三島キャンパス: 地域創生・国際交流会館4階
蔵本キャンパス: 蔵本会館2階

文書作成やウイルス対策等のソフトウエアアプリケーションを提供し、皆さんの大学生活を裏方から支援しています。これらのサービスは皆さんの利便性向上を図るものですが、その舞台裏では、関係者の努力により多くの情報システムを連携させることによって提供できています。

情報は活用して初めて役立つものなので、情報の取捨選択とその真偽を判別するスキルを培ってほしいと願います。近年は偽ニュース（フェイクニュースとも呼ばれます）がインターネット上に拡散しており、安易に流されないように自身を磨いてください。

さて、情報センターには各種サービスの提供以外に、大学における情報セキュリティ（情報に関する安全・安心）の確保を推進する役割があります。これは、悪意ある攻撃や意図しない事件・事故から皆さんを守るためのもので、全員参加でなければ実現できません。例えば、皆さんは入学した時点からパソコン必携です。本学ネットワークへの接続や本学情報サービスを利用することになりますが、使用するパソコンやスマートフォンとの情報セキュリティ対策は大学の情報セキュリティの確保に直結しています。このように、皆さん

徳島大学 生活協同組合

専務理事

神田 齊宜（かんだ よしり）



ご入学おめでとうございます。みなさんは、大学生活への期待とともに様々な不安があることと思います。そんなときこそ徳島大学生協（正式名称は徳島大学生生活協同組合）がお役に立ちます。普段、困った時や問題などがあれば、仲間や友達と一緒に相談・解決すると思いますが、生協はまさにそういう場です。「学内で必要なモノがある」「安くておいしい食事がしたい」「友達とたくさん出たい」など様々な要望や課題を解決するため、学生と教職員が力を合わせ、組織（お店）をつくっています。毎年ほぼすべての新入生が、入学と同時に生協に出資金を預け、生協の仲間（組合員）に加わってもらっています（出資金は卒業時に全額お返しします）。

では、そんな仲間のお困り事や要望に対し生協は何をしているかです。「必要なモノ」や「おいし

は本学に入学した時点から本学の情報セキュリティを支える大切な一人となります。普段のちょっとした心がけで情報セキュリティを確保することができますので、「徳島大学 情報セキュリティポリシー」を守って安全な情報ライフを送ってください。情報センターも皆さんを応援します。



情報センターホームページ
URL: <https://www.ait.tokushima-u.ac.jp/>
E-mail: callcenter.ait@tokushima-u.ac.jp
tel: 常三島: 088-656-7557 蔵本: 088-633-7708
窓口: 平日 8:30-17:15
●常三島: 情報センター棟1F
●蔵本: 図書館1F



徳島大学生協の店舗情報は
コチラ
（現在の営業時間もわかります）
<https://tokudai.marucoop.com/>



徳島大学生協のホームページ
<https://ha1.seikyou.ne.jp/home/tokushima-shop2/index.html>

い食事」の要望などには、学内の店が解決します。食堂が3つ、テイクアウト系店舗は4つ、ショップ系店舗が2つあり、みなさんが便利で楽しく利用できるよう日々頑張っています。欲しいものがない場合は取り寄せができますし、食堂では常にフェアや企画メニューを提供しており、美味しく楽しい食堂を追求しています。「友達と出たい」という要望には、新入生のつどいなどの楽しく出会い交流できる企画イベントを開催しています。

このような活動は、生協学生委員会や新入生サポーターなど、「みんなのために」と参加・協力してくれる学生のみなさんの力により支えられています。入学されたみなさんも、徳島大学で助け合える仲間とともに参加・協力しあい、充実した大学生活を送ることができるよう心より願っています。

2021年度 徳島大学カレンダー（予定）

※新型コロナウイルスの影響で、延期・中止となる可能性もあります。

4月・5月

- 前期開始（4月1日）
- 春季休業（4月1日～5日）
- 入学式（4月6日）
- 新入生オリエンテーション、SIH道場 他（4月1日～8日）
- 前期授業開始（4月9日）
- 五月祭 [2021年度は中止]

五月祭は、主として新入生を対象に学生相互の親睦をはかることを目的とし、毎年5月に開催しています。ステージ、模擬店、貫歩企画などで交流の輪を広げます。



入学式



五月祭

6月・7月

- 四国地区大学総合体育大会

学生の健全なる体育の発展と学生相互の親睦をはかることを目的とし、四国地区の国・公・私立（短大を含む）大学の学生が参加します。



四国地区大学総合体育大会

8月・9月

- 夏季休業（8月1日～8月31日）
- 科学体験フェスティバル in 徳島
- 徳島大学オープンキャンパス（8月上旬～中旬、常三島・蔵本キャンパス）

- 阿波おどり（8月中旬、県内各地）

400年の歴史を持つ徳島の夏祭りです。徳島大学からも多くの連（おどりのグループ）が参加します。

- 前期終了（9月30日）



科学体験フェスティバル



オープンキャンパス



阿波おどり

10月・11月

- 後期授業開始（10月1日）
- 大学祭（蔵本祭10月23日・24日 / 常三島祭10月30日・31日）

大学祭はこれまで60回以上行われ、本学の課外活動としては最も歴史のかつ最大のイベントです。各学部・各サークルの趣向を凝らした催し物、学部研究室の一般開放、市民と学生のつどいなど地域社会との交流もいろいろ企画され、全学あげての多彩な祭典が繰り広げられます。

- 開学記念日（11月2日）



常三島祭



蔵本祭

12月・2022年1月

- 中・四国国立大学連合演奏会・連合美術展覧会

学生の健全なる文化の発展と学生相互の親睦をはかることを目的として、中・四国の国立大学法人9大学の学生が参加して行われます。

- 徳島大学駅伝大会

駅伝を通じて学生及び教職員との相互の親睦を深め、体力・気力の向上をはかることを目的に、徳島大学体育団体連合会と徳島大学主催で毎年1月に徳島中央公園で開催しています。



駅伝大会

2月・3月

- 卒業式・修了式（3月23日）
- 学年末休業（3月25日～3月31日）
- 後期終了（3月31日）



卒業式・修了式

ご入学 おめでとうございます 同窓会からのメッセージ

渭水会 総合科学部同窓会



総合科学部及び大学院へのご入学おめでとうございます。心より歓迎いたします。
渭水会では、優秀な学部生及び院生に「渭水会会長賞」を贈ったり、研修会に助成を行うなど、会員の活動支援に努めています。学部の歴史や渭水会の活動状況、同窓生の活躍は、会報やホームページでご紹介していますので、ぜひご覧ください。

事務局連絡先 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
徳島大学総合科学部内 徳島大学渭水会事務局
Tel: 088-656-7293 / Fax: 088-679-8485
E-mail: info@isuikai.jp / URL: http://www.isuikai.jp

栄友会 医学部医学科栄養学科同窓会



栄友会は、徳島大学医学部医学科栄養学科（旧栄養学科、および同大学院栄養生命科学教育部の卒業生、在校生、教職員で組織された同窓会です。徳島本部、東日本、関西そして九州・山口県に支部組織があり、会員数は3082人です。総会の支部会阿波踊り、同窓会報や会員名簿の発行を通じて、会員の皆さんの交流を支援しています。

事務局連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部医学科栄養学科内栄友会事務局
E-mail: eiyoukai@tokushima-u.ac.jp
URL: http://eiyo.jimdo.com/

蔵歯会 歯学部同窓会



ご入学おめでとうございます。
歯学部の卒業生数は、歯学科2045名、口腔保健学科162名の総数2207名です。蔵歯会は、全国の支部長による支部説明会や各方面で活躍している先輩を招いて進学就職ガイダンスを開催しています。入学時から生涯を通じて、皆さんのサポートをいたします。

事務局連絡先 〒770-8504 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学歯学部同窓会
Tel: 080-6392-7362 / Fax: 020-4622-5181
E-mail: honbu@dentclin.tokushima-u.ac.jp / URL: http://www.tokudai-d.net

工業会 工学部・理工学部・生物資源産業学部同窓会



ご入学おめでとうございます。充実した大学生活を送られることを願っております。設立は1933年で、現在の会員数は約3万人です。皆さんは準会員となります。全国に18もの支部があり、会員相互の世代を超えた交流が活発に行われています。このネットワークは皆さんの将来の就職活動や就職後も頼もしい味方となります。

事務局連絡先 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1
徳島大学理工学部内
Tel / Fax: 088-656-5432 / E-mail: office@kgk.tokushima-u.ac.jp
URL: https://www.tokushima-u.ac.jp/kgk/

青藍会 医学部医学科同窓会



ご入学おめでとうございます。
医学部医学科同窓会は青藍会と称し、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に尽くすことを目的としています。現在の会員総数は6519名で、全国に14の支部を擁し連携を図っています。また、年一回の総会と講演会を開催しております。医学部医学科新入生の皆さんを本会の準会員として歓迎します。

事務局連絡先 〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部医学科同窓会青藍会事務局
Tel: 088-633-7109 / Fax: 088-633-3180
E-mail: seiran@tokushima-u.ac.jp URL: http://www.seirankai-tokushima.jp/

睦眉会 医学部保健学科同窓会



ご入学おめでとうございます。
睦眉会は、徳島大学医学部保健学科、同大学院保健科学教育部、並びに前身校を含めた同窓会です。平成8年に発足し、会員名簿や会報の発行、総会や講演会の開催などを行い、会員相互の親睦と母校の発展のために活動しています。現在の会員数は、7276名です。写真は、一昨年のホームカミングデーの様子です。

事務局連絡先 〒770-8509 徳島市蔵本町3-18-15
徳島大学医学部保健学科内 睦眉会事務局
Tel / Fax: 088-633-9067 / E-mail: mutsumi.jim@gmail.com
URL: http://mutsumi.web5.jp

薬友会 薬学部同窓会



薬友会は徳島大学薬学部の卒業生・大学院修了生のための同窓会組織で、会員数は卒業生・大学院修了生合わせて5257名です。薬友会は在学生に対しては卒業生からの就職情報提供を、卒業生に対しては同窓会誌（写真・薬友会誌第16号）や会員名簿の発行および同窓会・支部会の開催支援や講演会の共催を通じて、同窓生の世代を超えた結びつきを応援しています。

事務局連絡先 〒770-8505 徳島市庄町1-78-1 徳島大学薬学部内薬友会事務局
Tel: 088-633-7292、088-633-7250 / Fax: 088-633-9517
E-mail: reunion-ph@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokushima-u.ac.jp/ph/campus_life/alum/reunion/

新蔵地区 キャンパスマップ

Shinkura Campus Map

常三島キャンパスまで徒歩15分



日亜会館

1階: ガレリア新蔵

徳島大学の地域連携・社会交流活動拠点として、①各種イベントの開催、②教育研究活動の展示紹介などに活用されます。ギャラリーフロアには可動式の展示パネルがあり、展示室では、様々なテーマの特別展示を行っています。

3階: 放送大学徳島学習センター

4階: 留学生宿舍



地域創生・国際交流会館

地域社会の国際化や地域課題の解決を支援する場及び学生、教職員の国際化を強力に推進するための拠点となる施設です。

多言語交流コモンラウンジ

[1階]

多言語・多文化交流イベントを開催しています。

語学学習相談コーナー [1階]

多言語交流コモンラウンジ内で語学の学習支援を行っています。

英語学習コミュニケーション

プラザ [2階]

英語学習のためのワークショップを多数開催しています。

Global Space

Josanjima [4階]

留学情報等を得るならここへ



Dining キラ

営業時間 8:00～20:00
[土] 11:30～14:00 (L.O. 13:30)
[日・祝休業]

K's Bakery

10:00～14:00 [土・日・祝休業]

銀行ATM

阿波銀行・徳島大正
銀行 共通
ゆうちょ銀行ATM



生協ショップ [1階]

営業時間 8:15～18:00 [土・日・祝休業]
売店、書籍、旅行サービス等扱っています。

キャンパスライフ

健康支援センター [1階]

[平日] 8:30～17:15

保健管理センター (保健管理部門)

病気、けがの場合はここへ
メンタルヘルス相談もしています。

総合相談室 (総合相談部門)

困り事、悩み事などの相談はここへ

自習スペース

スタジオ

総合科学部3号館東 1～3階
(授業・講演等に使用する場合があるのであいている時のみ)
設備: 机、椅子、自動販売機 (1階のみ)

教養教育院学生自習スペース

教養教育5号館2階 / 設備: 机、椅子、PC充電式ロッカー、自動販売機

自習スペース

自習エリア

■ 共通講義棟2～6階

中央エレベータ前にパーテーションで区切られたエリア。
エアコン完備。机・椅子 (合わせて150名分) 4階に自動販売機 (飲料)

履修相談室 ■ 共通講義棟3階西端

その他 ■ カフェテリア / 設備: 机、椅子
■ 学生会館1階 / 設備: 机、椅子、雑誌

情報センター

パソコン使用時間

[平日]

2F 8:30～22:00

3F 8:30～18:00

※授業中は利用不可

creA (クレア)

営業時間

[平日]

11:30～14:00

(L.O. 13:30)

[土・日・祝休業]



総合科学部

理工学部

生物資源産業学部

常三島地区 キャンパスマップ

Josanjima Campus Map

カフェテリア

食事、自習等自由に
使用できます。

生協ミニショップ

Emi*re (えみり)

[1階]

営業時間

[平日]

9:30～18:30

[土・日・祝休業]



中庭

[キャンパスモール]



シンボルストリート



大学院創成科学研究科理工学専攻

国際連携教育研究センター [3階]

附属図書館

開館時間

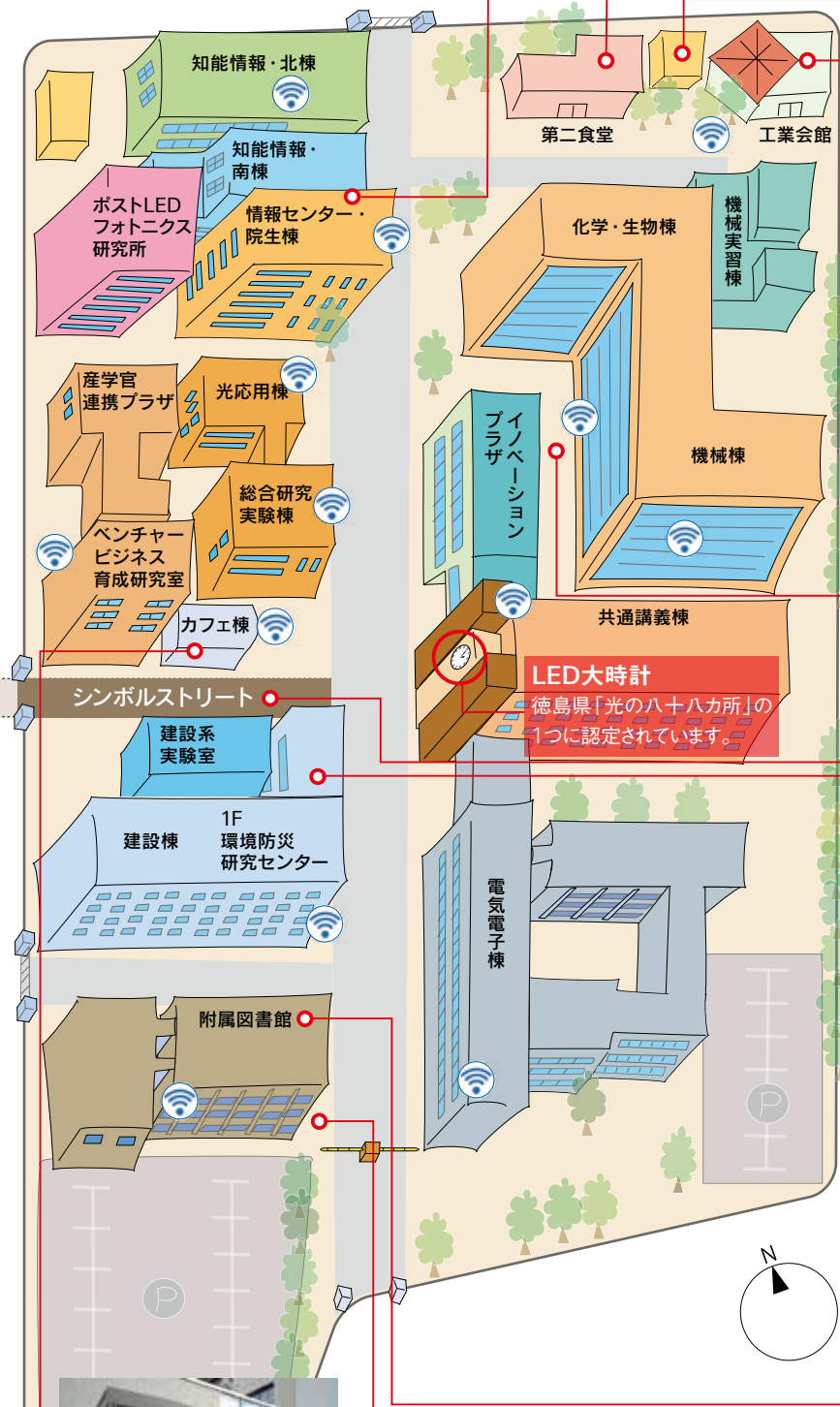
[平日]

8:30～22:00

[土・日・祝]

10:00～17:00

学習・パソコン利用



生協CAFE San-Jyo (さんじょ)

営業時間 [平日] 10:00～18:00

[土・日・祝休業]



図書館横 休憩所



長井庭園



薬学部スタジオプラザ[1階]

[1階]

キッチン SAKU-LA (さくら)
営業時間 [平日] 7:50~19:00
[土・日・祝休業]

コンビニ LUCK-LA (らくら)
営業時間 [平日] 8:30~18:00
[土・日・祝休業]

書籍・文具・PC SHOKO-LA (しょくら)
営業時間 [平日] 9:00~18:00
[土・日・祝休業]

【2階】
アルバイト情報コーナー、
ソフトボール用品等の無料貸出
体育館、和室の予約もこちらで。

キャリア支援室蔵本分室
[平日] 13:00~21:00

Global Space Kuramoto
[平日] 9:00～17:00
留学情報等を得るならここへ

キャンパスライフ健康支援センター
[平日] 8:30~17:15

蔵本保健室(保健管理部門)
病気、けがの場合はここへ

総合相談室(総合相談部門)
 困り事、悩み事などの相談はここへ

自習スペース

医学部

[医学科] (学年指定)

体育系サークル団体

常三島地区 (38団体)

- 自動車部
- ヨット部
- 硬式庭球部
- 柔道部
- バスケットボール部
- 卓球部
- 陸上競技部
- ソフトボール部
- サッカー部
- ワンダーフォーゲル部
- サイクリング部
- 弓道部
- 水泳部
- バドミントン部
- ソフトテニス部
- バレーボール部
- 潜水科学クラブ
- ボート部
- 硬式野球部
- 拳法部
- ユースホステル部
- 空手道部
- 合気道部
- 剣道部
- モダンダンス部
- ハンドボール部
- ゴルフ部
- 釣り部
- ラクロス部
- アメリカンフットボール部
- 軟式野球部
- フットサル部
- 自転車競技部
- サーフィン部
- ボルダリング部
- ライフル射撃部 (休部)
- ラグビー部
- フェンシング部

蔵本地区 (12団体)

- 蔵本弓道部
- 蔵本合気道部
- 蔵本剣道部
- 蔵本空手道部
- 蔵本柔道部
- 蔵本硬式野球部
- 蔵本ソフトテニス部
- 蔵本バドミントン部
- 蔵本バスケットボール部
- 蔵本卓球部
- 蔵本ラグビー部
- 蔵本硬式庭球部



サポート系サークル団体

常三島地区 (7団体)

- 繋ぎ create (休部)
- らぱっと編集部
- 学びサポート企画部
- 阿波ビブリオバトルサポーター
- 学生ボランティア
- ACTIVE
- DIVERS



紹介 サークル

introduction of circle

本学には、大学公認サークルが99団体(文化系42サークル、体育系50サークル、サポート系7サークル)あり、学部学生の約30%(2,500名)がいずれかのサークルに所属しています。

文化系サークル団体

常三島地区 (37団体)

- 交響楽団
- 演劇部
- 映画研究部
- 写真部
- 美術部
- 茶道部
- ギターアンサンブル部
- リーダークライス
- マンドリンクラブ
- 文学クラブ
- 東洋哲学研究会
- 書道部
- フルバンド部
- ポップス研究会
- 児童文化研究部
- 虎林図
- フォーク村 (F.V.T)
- コンピュータークラブ
- イラストレーション研究部
- 放送研究会
- 邦楽部
- アストロラーブ
- 将棋部
- 囲碁部
- デジタルアート研究部
- 中国語サークル
- ハンドメイド部
- ライブラリーワークショップ
- 競技かるた部 (休部)
- AIVO (休部)
- アグリクラブ
- Liber
- SW19
- 狩猟サークル Rexier Jagt
- 作曲 DTM 研究部
- オーディオビジュアル研究部
- ホスピタルアートクラブ

蔵本地区 (5団体)

- 蔵本茶道部
- 蔵本軽音楽部
- 蔵本外国語研究会
- 蔵本将棋部
- 医歯薬ボードゲームサークル Toy Soldier





クラスや先輩との繋がりを大切に 自ら動いて情報収集を

蔵本キャンパス 歯学部 歯学科 4年
植木 雄仁 (うえきたけと)

クラスの総代をつとめる植木さん。試験の日程決めや先生や学務係からの連絡係といった庶務的な仕事もきちんと行い、スポーツ大会の企画なども手掛ける頼れるクラスのリーダーです。

コロナ禍前はとくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）を借りて、サッカーやバレーボールといったスポーツ大会を行うなど、クラスの交流や親睦を深める活動に力を入れ、周囲からの信頼も厚く、植木さん自身もこうした繋がりを大切にしているといいます。

「大学に入って思ったのが、情報収集って本当に大事ということ。正しい情報を自分で集める

のは結構大変で、例えば試験勉強は過去問を中心にやっていたんですが、自分から動かないと情報は入らないので、自ら動いて情報収集した方がいいと思います。僕は仲のいい友達とLINEのグループを作って、そこで情報共有しながらやっています」。

先輩から資料をもらったり、実習の話聞くこともできるので、部活に入るのもおすすめという植木さん。新入生として新生活を始めて散策したり、自転車で回ってみたいといいとアドバイス。「田宮あたりまで行くという店もありますし、イオンモール徳島（徳島

市南末広町）まで行くのはちょっと遠いですが、僕はイオンまで自転車で行きました（笑）。『こんなところにこんなものがあるんだ！』って発見もありますし、そういう体験をして欲しいです」。

コロナ禍でできることも限られるのでは？とたずねると、「LINE電話で高校の友達と話したり、麻雀など新しい趣味も始めて、『会わなくてもできることってあるやん！』って思いました」と、想定外の状況も前向きに捕らえ、楽しみを見出している様子。そうした性格もみんなから好かれる要因だな、という印象を受けました。

My Life Situation

部活: サッカー部
趣味: ゴルフ、サイクリング、麻雀等々
アルバイト: 家庭教師、飲食店



体力作りも兼ねて、眉山へは徒歩で3回登ったそう。そのうち1回は友達6人で夜中12時に集まり、片道2時間かけて登ったといいます。山頂からは徳島市を一望でき、「あ、あれ〇〇じゃね?」という会話で盛り上がったそうです。



2年前の夏に行われたオールデンタル(歯学部だけの全国大会)の写真。これに向けてチームを仕上げていき、大会は植木さんが入学してからは、毎年ベスト8には残っているそうです。



植木さんが主催したフットサル大会。「歯学部のほぼすべての学年、OBまでが集まり、みんなでフットサルをしました(僕は真ん中で寝転がってます)」。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

充実した学生生活を送るヒントを先輩達からもらいましたので、ぜひ参考にしてみてください。

行動範囲を拡げ、 新しいことにチャレンジしてみて

常三島キャンパス 理工学部 理工学科 3年
仲 彩加 (なかあやか)

仲さんは和歌山県新宮市にある新宮高校出身。新宮高校は神倉山の麓にある高校で、和歌山の南にあり、大阪へ行くのも5時間くらいかかる場所なのとか。徳島ー和歌山間はフェリーもあるので、なんとなく近いイメージがありますが、新宮市から徳島までは約7時間。

そのため徳島大学を受験したものの、徳島についてほとんど知らず、徳島で暮らすイメージが湧かなかったといいます。

そうした中でも大学生になったら「新しいことを始めたい」と決めていたそうで、部活は女子ラクロス部に入部。就職は民間企業だけでなく、高校の先生も視野に入

れ、教員免許取得にも力を入れています。

「もともと教員になろうとは思っていなかったんですが、応用理数コースで教員免許がとれると知り、『免許がとれるなら...』と軽い気持ちで始めたんですが、周りに学校の先生になりたい子が多くて、一生懸命勉強しているのを見て、私もがんばろう! と思っています」と、免許取得が新しい目標に加わったといいます。

充実した学生生活を送るためにもスケジュリングが重要。仲さんがラクロス部を選んだのも、練習時間が朝6時〜8時までだったことが決め手だったそう。朝、部活して、授業を受け、その後はア

ルバイトというのが大まかなスケジュールで、2年生になってからは授業数も増え、応用理数コースの授業では実験もあり、「一日予定がパンパンで大変でした」とこれまでを振り返ります。

新入生に向けて学生生活を楽しむコツを伺うと、「高校生と比べると行動範囲が広がるので、バイトも勉強もいろんなことにチャレンジした方がいいと思います。新入生のみなさん、キャンパスでお会いできることを楽しみにしています、見かけたら声をかけてくれると嬉しいです」というメッセージをいただきました。仲さんのように徳島での学生生活、ぜひ楽しんでください。



前撮りの写真。「地元の世界遺産の熊野那智大社で撮ってもらいました。地元は熊野古道が有名で、観光客も多いです」。



「大塚国際美術館」に行ったときの写真。



My Life Situation

部活: 女子ラクロス部
趣味: 寝ること
アルバイト: 塾講師、飲食店



同じコースの友達とスノボに行ったときの写真。「スノボをするのは初めてでした」。



元気いっぱいのラクロス部の同期のみんなと。



コロナ禍の留学

総合科学部 社会総合科学科 3年
元木 春伽 (もときはるか)

留学のきっかけ

2020年8月17日から9月11日までの約1か月間、南イリノイ大学にオンライン留学をしました。コロナ禍で海外に渡航することができなくなり、今後の留学の準備として日本にしながらでもできることについて考えているときにオンライン留学の案内を見つけ、

参加することになりました。しかしオンライン留学に参加することは初めてであり、ワクワクと不安を抱えながら日本からの留学をスタートさせました。

留学を通して

私のクラスにはコロンビア、日本、アメリカからの留学生が参加し、一緒に学んでいました。はじめは日本との発音の違いに慣れるまで聞き取ることに精一杯であり、相手が話している内容を理解するまでに時間がかかり、会話が続かないことがありました。授業内で行われていたディスカッションを通してリスニングとスピーキングが鍛えられました。最終的には相手が話している内容をリアルタイムで理解できるようになり、会話



が続くようになり、伝えたいことを伝えることができました。現地に行くことができなかったので、生活スタイルなどを体験することはできませんでした。しかし、オンラインだからこそクラスの全員と話すことができました。直接話すことができなかったことが、心残りです。この留学が終わった時、私は直接、現地に行き、会って話をしたいという新たな目標を立てました。この留学での経験は私にとって有意義でした。

今回の研修を経て、学習への意欲が高めることができた

総合科学部 社会総合科学科 2年
櫛淵 英 (くしぶちはな)

前半の韓国語の授業では、先生が基礎から丁寧に教えてくれたことで、ハングル文字が読める程度

だった私でも無理なく受講することができました。後半は、現地の学生が中心となって韓国の食事や伝統文化などについて学びました。実際に授業中に伝統料理を作ってくれるなど、まるで現地にいるようでした。

また、先生や学生が手厚くサポートしてくれたことがとても心強く、始めに感じていた不安を取り除くことができました。一方、積極的に発言できなかったことが反省点です。これは、自分の語学力に対する自信のなさの現れであるため、韓国語と英語の勉強に励み自信につなげたいと思います。そして何も身構えることなく話せるようになることが、今後の目標です。

実際に留学するときよりも盛んに現地の学生と交流できたことや、様々な韓国語のレベルの学生と一緒に受講できたことはオンラインだったからこそ利点だといえます。

そして、今回の研修で実際の授業や大学の雰囲気を知ることができ、以前から希望していた慶北大学の長期留学への意思がより一層強くなりました。仲良くなった先生や学生とも実際に会って話してみたいです。



ことができました。今回得た学びを活かすためにこれからも学習を継続し、自らの成長へとつなげていきたいと思っています。



My Life in Tokushima

徳島大学での最高の留学生活

理工学部 理工学科 4年

HOANG TUAN TRUNG

(ホアントゥアン チュン) [ベトナム]



留学生
滞在記



神戸への研修旅行(筆者:右から2人目)



日和佐八幡神社秋祭り(筆者:前列左から2人目)



美馬市のオデオン座での国際交流

私はベトナムから来たホアン・トゥアン・チュンといいます。海外留学は高校生のときからの夢であり、日本への留学を決めました。高校を卒業してベトナムで日本語学校に2年間通い、日本に来ました。徳島大学でさらに6か月間日本語を勉強して、その後学部に入學しました。

私は留学生として「留学先でその国の文化に触れることができるかどうか」「さまざまな国から来た友だちと交流できるかどうか」ということが、とても大事だと思っています。徳島大学では、先生方や周りの学生の皆さんに優しくしていただき、いい人間関係がたくさんできました。キャ

ンパス内にはEnglish Learning Communication Space& Culture Loungeなど国際交流スペースがあり、様々な国の留学生といつでも交流することができます。また、週末などには日本の文化を体験するイベントや旅行がよく行われており、私も積極的に参加しました。日和佐祭りでもようさを担いだりオデオン座で芝居をしたりして、本当に楽しかったです。

私は子供のときからコンピュータとコンピュータゲームが好きでした。それで、徳島大学の理工学部理工学科情報システムコースを選びました。勉強の内容は情報数学、ネットワーク、プログラミング言語の基礎知識、ハードウェア

ア・ソフトウェアの基礎知識とをの応用です。2年次に「ソフトウェア設計及び実験」という授業で、初めて自分でゲームを作りました。まだバグが多くて、あまり友だちに楽しんでもらえませんでした。ですが、プログラミングの基本を学ぶことができ、初めてモノづくりのおもしろさを感じることができました。3年次に「システム設計及び実験」の授業でロボットの開発をしました。最終コンテストとして、共通エリアに置かれた宝物を自陣エリアに運ぶ3対3の対戦型トーナメントが予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響で中止になりました。残念でしたが、これからも様々なことに

触れてみて、卒業研究のテーマを見つけないと思っています。

私は毎日、最高の留学生活を楽しんでいます。たくさんの人と出会い、いろいろな体験ができたことで、成長したように思います。卒業後は徳島大学で勉強したことを活かし、ベトナムで活躍したいと考えています。もちろん、体験できた日本の文化や日本の美しさをベトナム人に伝えます。急速にグローバル化が進んでいる現在の社会で、日本とベトナムとの関係に少しでも貢献できればと思います。いつも支えてくださる徳島大学の方々に心から感謝します。残り1年間の留学生生活を有意義に楽しみたいです。

大学院医歯薬学研究部歯学域 教授
松香 芳三 (まつか よしぞう)



現在、神経機能解析、再生医療、顎口腔機能、金属アレルギーの4つを軸に、それぞれ研究が進んでいるという松香先生。ポスターを拝見しながら、それぞれのよう

● まずは再生医療について。

複合細胞シートという2つの細胞シートを併せて使うことで、損傷した骨だけでなく、周辺の粘膜や歯肉、骨膜など損傷組織の再生を目指すもので、マウスを使った実験では骨と歯周組織、歯周靱帯などは再生できたのだとか。また「再生歯ユニット」を使った実験

では、歯を失ったところへ「再生歯ユニット」を移植すると、組織を再生できるという実験結果も出ているそう。実用化されるのはまだまだ先だそうですが、大きな期待のかかる研究です。

**歯ぎしりを計測する
世界で唯一、開発に
成功した機器も！**

● 次に顎口腔機能について。
松香先生の前任の坂東先生の時に、顎の動きを図る顎運動測定器の開発に成功し、実用化。この機器により、夜、寝ている間の歯ぎしりの様子を調べることが可能に。これまで筋電図だけで推測していた歯ぎしりを、「横にギリギリしている」「グツと噛みしめている」など、どのように噛み締めているのか、どのように顎が動いているかわかるようになったことで、夜中に息が止まる睡眠時無呼吸に關しても、その装置を使って無呼吸の計測もできるので、歯ぎしりと關連などを調べています。

●そして金属アレルギーについて。
今でも歯科治療に使う金属で起
こるアレルギー「歯科金属アレル
ギー」。そのメカニズムを調べる
研究も行われています。

「例えばインプラント。インプラントに使用するチタンは安全だと言われているんですけど、チタンもアレルギーが起ることがあります。歯科用のインプラントを入れたらアレルギーが起きて、そのインプラントを外したらアレルギーが治ったという人もいらっしゃいます。」

あと金属アレルギーの原因となるのはピアスですね。ニッケルの入ったピアスは金属アレルギーをひき起こしやすいので、ヨーロッパでは禁止されてるんですが、日

本ではまだ禁止されていないので、女性講師が中心になり『禁止しよう!』と強く動いています。そういう二ツケルピアスから感作して、金属の詰め物が入ると発症するということはよくあります」。

慢性痛のメカニズムを知るため、痛みを見える化

●最後に松香先生の専門でもある「痛み」の研究、神経機能解析について。

歯の痛みや顎の痛みなど、頭痛



研究室のメンバーは「博士号を日本で取得したい」という海外からの留学生が多い。

も含め、顔の周りの痛みは総称して「口腔顔面痛」といい、6カ月以上痛みの続く慢性痛のメカニズムや治療法について研究をされているそうです。

「痛み」という感覚的なものを、どうやって研究しているのかという、動物モデルの実験で「痛み」は見える化できるのだとか。「例えば傷をした時に触ると痛いじゃないですか。それと同じでラットも痛かつたらすぐ逃げるんですよ。神経をちよつと縛つてその圧力を測定し、それを指標にしてい

るので、痛みも目に見えるカタチで分かるんです」。

痛みのメカニズムを解明し、新しい薬の開発や、すでに販売されている薬の中で効果のあるものを探索を行うとのこと。

また、痛みの予防法については「痛みが長引かない、慢性化しないよう、心と体がいつも元気なの

が「一番」とアドバイス。とはいえコロナ禍で、これまでにないストレスで、歯の痛みを感じるといつた人からの相談も増えたのでは？

「全国において、そういう相談はあるみたいですね。鬱状態になつて病院にも行けず、定期的に診てもらっている先生もいなくて、余計に痛みが増しているとい

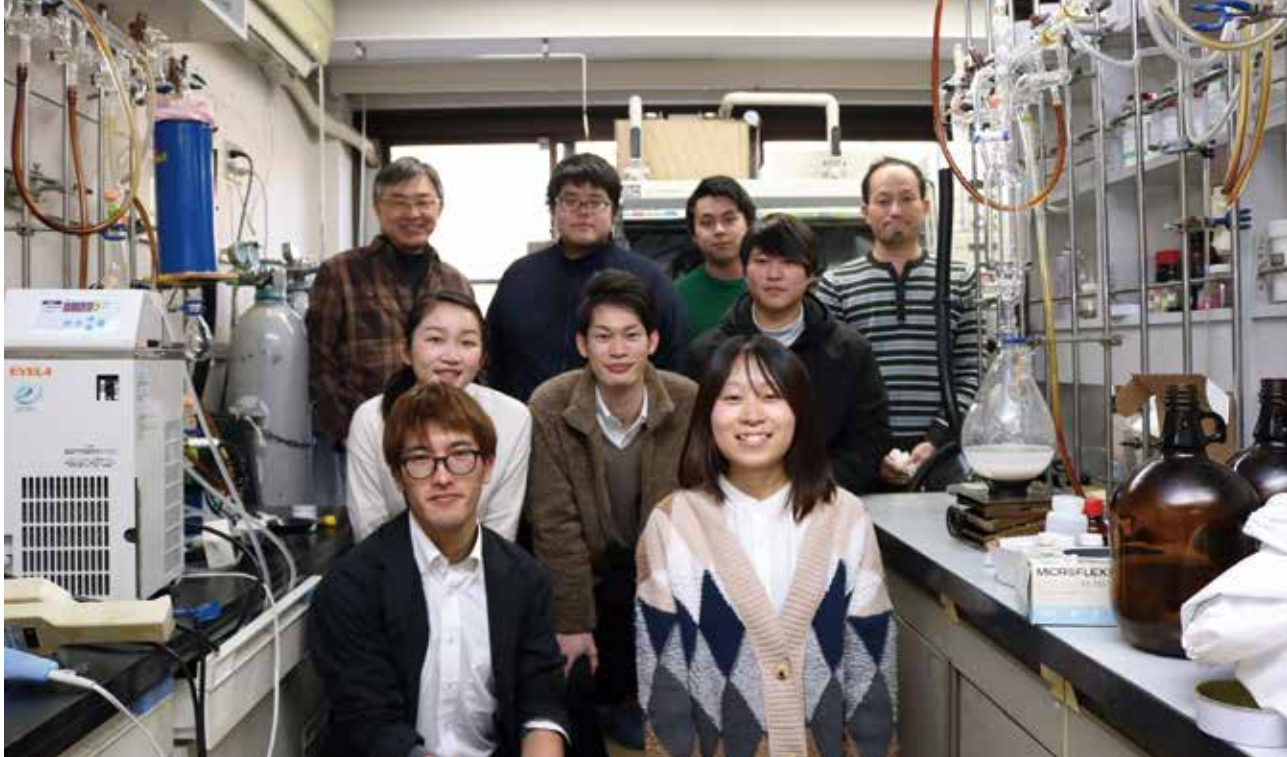
う人もいるようです」。

不安や恐怖、気分の落ち込みなどでは、痛みをさらに悪化させてしまうため、落ち着いて対処してほしいそうです。歯の健康、大切にしたいですね。

神経機能解析

再生医療

サテライト・グラフトと神経細胞間の相互作用の可能性



研究室のみさん。取材時、研究室で最古参の榎本さんが「小笠原先生は強権風ですが、実はみんなとご飯行ったり、旅行したりしたいんよ」と明かす場面も。一斉に「えー!行きたい!!」との声が挙がり、研究室の仲の良さが伺われます。

世界レベルで活躍する 研究者を育てるための 小笠原流、飴と鞭

大学院社会産業理工学研究部 小笠原 正道 研究室
理工学域教授

**金銭資本より肉体資本
実験は体力勝負!**

「キツイ」、「厳しい」ことで有名な小笠原研。研究が夜遅くまで続くこともあり、研究室の学生達は「有機化学の合成系はカラダが資本」と、日々体力勝負といえます。

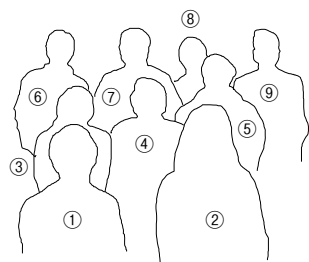
「研究は競争。時間かけて実験して、論文を書くとなった時に、地球の裏側の知らない人がたまたま同じアイデアを持つていて、先に論文を出されちゃったら、いくらがんばったとしてもゴミになってしまう。見えない相手と競争しているので、とにかくやるしかないですね。そういう価値観を学生と共有することが大事だと思っています」と話す小笠原先生。

学生達が自発的に研究に向かい、

モチベーションを保ち続け、完遂できるよう、ご褒美要素のある特典を用意していて、がんばれば海外で行われる学会へ連れて行ってもらえるのだとか。2019年に研究室メンバーで台湾へ行き、小笠原先生の友人である国立台北科技大学の「S.教授の研究室と交流を兼ねた研究発表会を行ったそう。

2020年もホノルルで行われる環太平洋国際化学会議という大きな学会へメンバー全員で行く予定だったそうですが、残念ながらコロナ禍で延期になってしまったのだとか。

学生達はさぞかし残念がっていると思いますが、「残念ですが、それよりも先生の雑談が面白い」という大久保さん。政岡さんもこの研究室を選んだ理由は「小笠原先

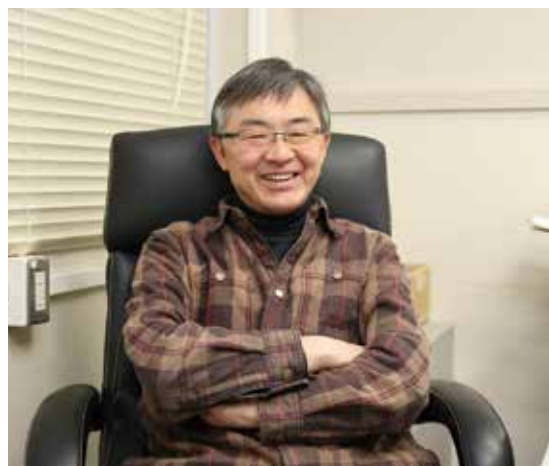


1. 理工学部 理工学科 3年 政岡 翔
2. 理工学部 理工学科 3年 大久保 愛美
3. 大学院創生科学研究科 理工学専攻修士 1年 田上 遙
4. 大学院創生科学研究科 理工学専攻修士 1年 大路 健仁
5. 理工学部 理工学科 4年 堀江 将仁
6. 小笠原正道先生
7. 大学院総合科学教育部 地域科学専攻修士 2年 榎本 裕貴
8. 大学院総合科学教育部 地域科学専攻修士 2年 岩本 啓汰
9. 日亜化学工業株式会社 人見 牧

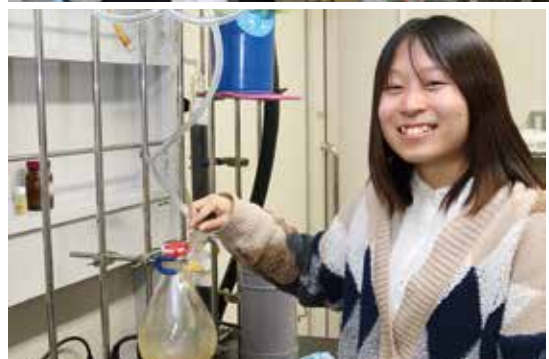
※学年は2021年2月取材時

ン・イスラエル工科大学と学術研究・教育における協力を推進するため、学術交流協定を締結し、世界レベルで活躍できる優秀な研究者・技術者の育成を目的に、徳島国際サイエンス研究所を2021年1月に設置しました。

テクニオン・イスラエル工科大学との連携は日亜化学工業株式会社の仲介により実現したもので、現在進行している5つのプロジェクトのうちの1つは小笠原研のもの。



「むちゃくちゃ厳しいと思いますよ、うちは。厳しいのは間違いないけど、100%できてるか知りませんが、理不尽にはしてないようにしてる努力はしています。とは言っても、僕はそんなに人間ができてないから、不完全だとは思いますが、努力はしてます。そんな説教は毎週してます」。



フランスからの留学生、Mr. Fortunatoと一緒に。

台北Tsa研究室と一緒に、発表会後にバーベキュー。

高等化学研究所の「Jiroshi」教授が指導するフランス人の学生が実験のため2カ月間滞在し、その際は大路さん、田上さんは休日に一緒に徳島を案内したりして、語学研修兼コミュニケーションスキルの向上にも役立ったといえます。

「コロナでなければバルセロナの学会で知り合って共同研究を始めた、タイ／マヒドン大学のSuratanawong教授（理論化学）を徳島に呼ぶ予定だったので、残念です。2020年はどこへも行っていないですけど、これまで国内外を問わず、学会や講演、共同研究の話をしに各地へ行っていました」という小笠原先生。

フットワーク軽く方々へ足を運び築いたネットワークは、学生達にとつてもたくさんのチャンスをもたらしている。海外の学生や研究者との交流は、研究面は言うに及ばず、学生たちが社会人として成長するきっかけにもなっています。

普段、どのような研究を行っているかを学生のみなさんに伺うと、「化合物は立体的でとても複雑です。化合物の中には鏡に映したときに重なり合わないものもあり、その化合物をキラルな化合物」というんですが、対になっている左手側は体にとっていい作用があるけれど、右手側は体にとって毒というパターンがあつて、片方だけを選択的に作り変えるとい

研究は楽しんでもん勝ち

うことをやっています。この作り分けを不斉合成といつて、この研究室では遷移金属錯体という金属から構成される化合物を触媒にした合成を行っています。金属じゃない有機分子触媒というのもあるんですが、この研究室では金属をメインに扱って触媒や配位子を作っています」と、説明してもわかりにくいので、興味を持ってもらえたらキラル、不斉合成、遷移金属錯体といったキーワードをもとに、インターネットで検索してみてもらえると詳しい情報が出てくると思います」。

研究の進行状況によっては日曜も研究室へ来る場合もあるそうですが、基本的に日曜は完全オフ。モチベーション管理のために

も休みの使い方が重要で、実験以外の時間はサブスクで映画を見たリ、違う分野に触れてリラックスするなど、それぞれに自分流のストレス解消法があり、バランスをとっているといえます。「一日の大半を研究に費やすなら、楽しんでもん勝ち」と先生はよく言っています。上手いかわない時もありますが、失敗はなぜ上手いかなかったかを考えるきっかけなので、失敗はチャンス。実験自体を楽しむようにしています」。

実験は地味な努力の繰り返し。泥臭く努力する人だけが、手にできるものがあるという普遍的な価値観を、研究を通じて学んでいるのかもしれないね。

共同研究で広まるネットワーク

昨年12月、徳島大学はテクニオ



「起業」という世界を知って、学んで、体験して、未来の自分を考えよう!

産業院で行う次世代産業人材創出プログラム

徳島大学産業院では「新しい産業を創出できる人材」の育成に取り組んでいます。

「新しい産業を創出する」ためには、次世代の担い手である学生の皆さんの力を欠かすことはできません。

徳島県においても、企業の数や働く従業員数が年々減少しており、地域の発展のためには、「地域社会への新産業の創出」が必要不可欠な状況となっています。

このような中、徳島大学産業院では、地域を愛する起業家の育成こそが「徳島を変える原動力となる！」という趣旨に賛同いただいた、ビジネスシートの第一線で活躍する講師陣と共に『次世代産業人材創出プログラム』を開講しています。

新産業を創出するための3大要素

徳島大学産業院では、新産業を創出するための人材に必要な3大要素を「顧客ニーズの理解」「ミツシヨンの気づきと探求」「起業・社会システムの理解と実践」と定義し、その育成のための対話と実践を重視したプログラム「起業を創ろう」「次世代事業創造入門」「テクノロジーとビジネス」「次世代事業創造実践」を開講しています。

「起業を創ろう」「次世代事業創造入門」「テクノロジーとビジネス」については、教養教育イノベーション教育科目の単位（2単位）として取得できます。

起業を知ろう

「起業を知ろう」では、様々な分野で活躍する講師の経験や想い

を直接聞き、それぞれの取り組みとそこに至る過程（成功・失敗例）を学びます。新たな事業を生み出す起業家も、悩みながらそれぞれの答えを導き出し、それに向かって事業を起こすことでそれぞれの想いを実現しています。

その想いを共有し、講師陣との対話を通じて、皆さん自身の進む道について考えていくことにより「自分自身のミツシヨンへの気づき」と「探求」できる力を育みましょう！

次世代事業創造入門

「次世代事業創造入門」では、「顧客ニーズの理解」と「思いを形にする力」と「恐れずにチャレンジ（挑戦）する力」を学びます。

デジタル社会の今、新しい製品やサービスが多くがスタートアップ企業により生み出されているという

講師陣



(株)ウェイビー代表取締役社長
伊藤 健太 氏



スタンフォード大学主任研究員
池野 文昭 氏



XTech(株)代表取締役社長
西條 晋一 氏



NPO法人グリーンパレー理事
大南 信也 氏

（経歴）1958年生まれ、徳島県出身。1998年に日本初の個人型投資事業有限責任組合設立。日本のVC界で、長期の未来フロンティアに投資し、回収する先進的実績を作り、DeNA等で成功を収める。1999年に開発して始めた起業体験プログラムがJPM社会貢献活動に採用されているなど起業教育分野でも実績がある。（コメント）『徳大生、坂本龍馬になってみよう!!』坂本龍馬は独立していたからこそ、長崎に海援隊を作り、自由闊達に活動することが出来た。これから社会に出ようとしている若い徳島大学生、鳥かごの中ではなく、大空を飛翔して、人類の幸福に貢献してもらいたい!



株式会社日本テクノロジーベンチャーパートナーズ代表
村口 和孝 氏

（経歴）1985年生まれ、徳島県出身。メジャーリーガーを目指したアメリカ留学から帰国後、2010年に実家の吉野川タクシー有限会社に入社。2012年同社代表取締役に就任し、債務超過寸前の状態からV字回復を実現。2015年株式会社電脳交通を創業。（コメント）コロナ禍に入って大混乱に陥った世の中ですが、これからこの混沌とした時代の中、自分で事業を作っていくというのは大きな武器になると思います。授業を通じて自分で事業を創っていくための教養と一緒に育みましょう!



株式会社電脳交通代表取締役社長
近藤 洋祐 氏

も過言ではありません。これら企業が行う技術・製品・サービスに関するアイデアや新ビジネスを形にする方法、挑戦するための手段や手順など新規事業創造の二連の流れを、企業の方にアドバイスを受けながら学びましょう。

テクノロジーとビジネス

「テクノロジーとビジネス」では、自身の課題意識やテクノロジーをビジネスに落とし込むため

の手法・事例について、国内で起業家として活躍する外部講師を迎え、徳島イノベーションベースと連携し、起業という世界観と、自身が考えるビジネスをどのように実現していくかについての理解を深め、「起業や社会システムの理解・実践」を行う力を養います。起業を目指す、または興味がある方には多くのチャンスと学びを得られるプログラムです。プログラムを受講し世界を変える起業家の仲間入りをしましょう。

次世代事業創造実践

―任意参加プログラム―

「次世代事業創造実践」では、大学祭もしくはECサイトを用いた企画・出展を通じて、実社会での一連の企業活動を実践体験します。慶應義塾大学のビジネススクールでも同様のプログラムを提供する村口和孝氏が、経済のしくみをわかりやすく教えるための体験型プログラムです。

スタートアップスタジオ「U-tera」



U-teraでは、プログラムを受講し実践している先輩たちをフェイスブックで紹介しています。ぜひアクセスしてください!



徳島大学産業院では、夢や目標を事業というカタチで実現を目指す学生のためにスタートアップスタジオ「U-tera」を設置しています。



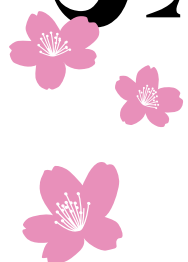
株式会社メディアドゥ代表取締役社長CEO
藤田 恭嗣 氏



一般社団法人徳島イノベーションベース (通称:TIB)
TIBとは、徳島駅前に位置し、徳島県内の企業や団体等各所が強みを活かし、アントレプレナーシップを持つ徳島県民の新たな成長の場を提供する拠点です。



次世代事業創造実践2019・模擬店の様子



外国人留学生・研究者の 写真コンテストを開催



リピン出身の留学生 Hannah Rhea P. Alfredo（ハナ）さんの「マスクの有無にかかわらず、学びたい」という衝動」と題する写真が特選に選ばれました。

総合科学部の内藤直樹准教授が、
国連食糧農業機関主催の
ウェビナーにて、日本の世界農業
遺産サイト代表として報告

2020年12月15日から23日まで徳島大学ガレリア新蔵で写真コンテスト展示会「徳島から未来へ留学生の思い2020」が開催されました。

このコンテストは本学の外国人留学生や外国人研究者が今の状況でどんなことを経験し、どのように対応してきたかを発信することを目的としています。

来場者による投票の結果、フィ



詳細はこちらをご覧ください。

総合科学部の内藤直樹准教授

が1月26日に、国連食糧農業機関（FAO: Food and Agriculture Organization of the United Nations）が主催するウェビナー「世界農業遺産と生態系回復」にて、日本の世界農業遺産サイト代表として報告をおこないました。

ベトナムのドンズー日本語学校で
オンラインによる大学説明会を
実施

1月29日、ベトナムのドンズー日本語学校とオンラインでつなぎ、大学説明会を実施しました。ドンズー日本語学校と本学は2016年に協定を締結し、渡日前入学許可制度による入学試験を実施しています。本制度により、これまでに8人の学生が理工学部、生物資源産業学部に入學しました。



とくぽんAI塾開塾式を開催

2月6日、小中高生を対象としたデザイン型AI教育研究センター「とくぽんAI塾」（徳島大学主催、徳島新聞社、アリスマー株式会社



社共催）の開塾式が徳島大学日亜会館において開催され、当日はオンラインによる参加者を含めて約20名が出席しました。

開塾式の後には、油井毅先生による「デザイン思考入門コース」がスタートし、ケーキ屋さんをテーマとして、課題を見つけて解決策を考える思考を学び、オンラインを通じて参加者が意見交換を行いました。

阿南光高校の高校生が、 生物資源産業学部農場の 見学研修に参加

2月12日、阿南光高校の高校生を対象に生物資源産業学部農場の見学研修を行いました。この見学研修は、「徳島県、国立大学法人徳島大学及び徳島県教育委員会の連携協力による6次産業化教育の展開及び研究開発の推進に関する協定」に基づく高大連携の一環として、高校生に農場の施設見学及び研究活動の体験をしてもらい、進路選択に生かすとともに6次産業化に対する理解を深めることを目的に毎年度実施しているものです。



令和2年度康楽賞の贈与について

令和2年度の康楽賞受賞者（教員12名、学生48名（うち学術研究関係24名、奨学生24名））が決定し、公益



文科省主催令和2年度パテントコンテストにおいて、本学が文部

財団法人康楽会より、賞状及び賞金・奨学金が贈られました。

毎年、康楽賞贈与式を開催し、公益財団法人康楽会三木理事長から賞状、賞金及び奨学金が受賞者一人一人に授与されておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、贈与式は開催中止となりました。

詳細はこちらをご覧ください。



「令和2年度パテントコンテスト・
デザインパテントコンテスト」
文部科学省科学技術・学術政策
局長賞」を受賞

科学省科学技術・学術政策局長賞を受賞しました。

詳細はこちらをご覧ください。



本学学生のチームが女性起業家 大賞を受賞



3月12日、東京・神田明神ホールで開催された「EPOEビジネスデザイン全国発見&発表会リ（イータ）2020-2021」に徳島大学発ベンチャーである株式会社KAIの前田晏里さん（総合科学部4年）、毛笠龍之介さん（理工学部4年）がオンラインで出場し、女性起業家大賞を受賞しました。このほか、ナイスビジネス賞も受賞しました。

この大会は、北海道から沖縄まで全国13会場で行われた予選に、高校生から社会人まで400を超えるチームが参加。「EPOE大会」では予選を勝ち抜いた33チームがビジネスモデルのアイデアを競い合いました。

2020年度後期日本語 研修コース修了式を開催

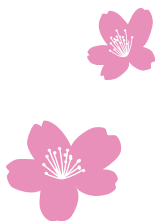
3月15日、地域創生・国際交流会館において、2020年度後期日本語研修コース修了式を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策として、今回の修了式は対面とオンライン併用で実施したため、海外に住んでいる受講生の家族や友人の方々にもご参加いただくことができました。

修了式では、フィリピンから2



スピーチの様子

名、インドネシア、バングラデシュ、ジンバブエ、セーシェル、マラウイ、ケニア、コロンビア、ラトビアから各1名、計10名の外国人留学生が、5ヶ月間の学習の集大成として日本語でのスピーチに挑みました。



東進ハイスクールの公式
YouTubeチャンネル
「東進TV」に徳島大学の
紹介動画が掲載



東進ハイスクールの公式
YouTubeチャンネル「東進
TV」に、本学の紹介動画が掲
載されました。

動画では、本学の学生や教員が、
総合科学部、理工学部、生物資源

産業学部を紹介しています。ぜひ
ご覧ください。

詳細はこちらを
ご覧ください。

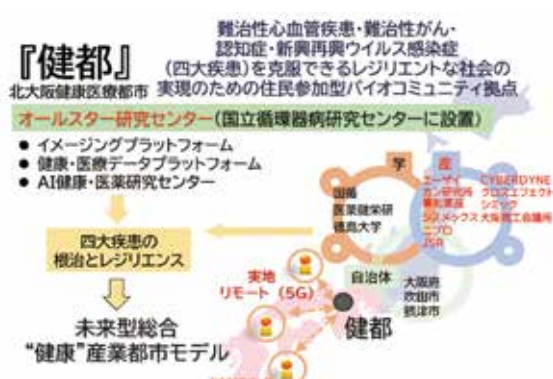


「共創の場形成支援プログラム
（バイオ分野 本格的）」に参画機関
として採択

この度、国立研究開発法人科学
技術振興機構（JST）「共創の
場形成支援プログラム（本格的）
政策重点分野（バイオ分野）」に、参
画機関として採択されました。こ
のプログラムへは、国立循環器病
研究センターを代表機関として本
学を含めた15参画機関と共同で応
募していました。

徳島大学は、このプロジェクト
への参画を通じて、強み分野であ
る医学（慢性炎症）研究のさらな
る先鋭化を進めるとともに、産官
学協働研究の拡大、研究開発企画・
マネジメント体制の強化による持
続可能な産学共創システムを構築

することで、ポストコロナ時代に
適応する新たな地方大学モデルを
提唱し、「キラリと光る」徳島大
学」の実現を目指します。



詳細はこちらを
ご覧ください。



徳島大学の新しい 公式SNS (Twitter、Instagram) が 始まります。

徳島大学では現在、公式ホームページの他にFacebookとYouTubeを利用し、情報を発信しています。

今回、より多くの方に徳島大学の情報を伝えることを目的として、TwitterとInstagramを新たに始めることになりました。

徳島大学のニュース、イベントや入試情報など、大学の情報を広く発信していこうと思いますので、ぜひチェックしてみてください。



Twitter



Instagram



私は県外出身で、徳島に住んで約20年になります。徳島を好きになる要素はいろいろありますが、特に多様で魅力的な文化が地域に根付いている点が素晴らしいと感じています。こうした徳島の文化の魅力を、第一線で活躍しておられる方々から直接聞くことのできる「徳島の文化を学ぶ」オンライン講演会を学生の皆さんを対象に昨年度全8回実施いたしました。その模様が、YouTubeケーブルテレビクシマ公式チャンネル(<https://www.youtube.com/channel/UC9vHakGPWyz7VCwCTGOLdfw>)で公開され、多くの視聴回数を獲得していますので、ぜひご覧いただき、徳島の文化の深い魅力に触れてください。これを見れば、あなたも徳島の文化通になります！

今年度は、「徳島ゆかりの方から学ぶ」オンライン講演会を現在、企画中です。様々なジャンルの著名人に登場いただく予定ですので、ご期待ください。

第1回	大塚国際美術館 世界の名画に出会える場所 ～唯一無二の体験を追求して～ 大塚国際美術館 学芸部部長 浅井 智誉子 氏
第2回	阿波おどり・阿波の民謡 娯茶平 連長 岡 秀昭 氏 娯茶平 三味線奏者 安藤 正会 氏
第3回	徳島の歴史と文化 徳島市立徳島城博物館 館長 根津 寿夫 氏
第4回	藍染 (有)本藍染矢野工場 代表 矢野 藍秀 氏
第5回	阿波人形浄瑠璃 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 館長 佐藤 憲治 氏
第6回	外国人の視点から見た四国遍路の魅力(協力:安楽寺) 徳島大学教養教育院 准教授 モートン 常慈 氏
第7回	徳島の文化の魅力 徳島県知事 飯泉 嘉門 氏
第8回	第九アジア・日本初演(協力:鳴門市ドイツ館) 徳島新聞社編集局編集委員 藤長 英之 氏

徳島大学
オンライン講演会



読者の 言葉の

●年間行事表のようなものがあると分かりやすいです。
●学術のみならず、趣味でも生き活きと活動されている方々の紹介があればと思います。

① ご愛読いただきありがとうございます。今号は「新入生歓迎号」です。新入生がどのような環境で過ごすのかを見ていただくために、常三島や蔵本のキャンパスマップも載せました。学生が利用する食堂や講義棟などを想像していただければと思います。徳島大学カレンダーも、ぜひご覧下さい。また、「在学生による新入生歓迎の言葉」は、元気で前向きな言葉が並んでおり清しい気持ちになります。次号では、徳島大学でのキャンパスライフを皆さまにお伝えできるよう、サークル活動や講義風景など学生の様子が分かる写真を多く取り上げる予定です。加えて、コロナ禍での大学のサポート体制についても特集します。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

NICHIA
Ever Researching for a Brighter World

ここにしかない
創造力

日亜化学工業株式会社
徳島県阿南市上中町岡 491 番地
TEL:0884-22-2311
<http://www.nichia.co.jp/>

HOTEL SUNROUTE TOKUSHIMA

ホテルサンルート徳島 シングル ¥7,400～
ツイン ¥12,600～

〒770-0834 徳島市元町1丁目5-1
Tel 088-653-8111/Fax 088-653-9888